

令和元年度
おみたま
ふるさと塾
閉講式



グループ^o討議発表

【発表テーマ】

「わたしと
まちの接点」



主催：小美玉市 / 後援：小美玉市まちづくり組織連絡会

令和元年度

グループワーク
テーマ

『わたしとまちの接点』

1：まちづくりとは

2：まちづくりの担い手

3：まちとの接点

4：わたしとまちの関わり

おみたまふるさと塾（閉講式）

ねらい

まちづくりと担い手の関係性から

「自分」と「まちの接点」

（できること）

（やりたいこと）

まちづくり活動を考えるキツカケに

輪
っ
子

続いて、グループ発表です。



「わたしとまちの接点」

Aグループ

信田 正男	(羽鳥区)	清水 克嘉	(清水頭区)
高野 晴夫	(伏沼区)	加護六 京子	(新高浜第一区)
長谷川 幹	(川岸区)	山口 喜美夫	(上高崎区)
安島 啓和	(常磐大学)	井上 正皓	(常磐大学)
大津 和輝	(常磐大学)	田向 桃音	(常磐大学)

1

『まちづくりとは』？

「まちづくり」という言葉のイメージ

【まちづくり】

自治体が動く、年代が近いグループの話し合い、人と人とのつながりづくり、ひとづくり、知り合いをふやす、福祉、みんながくらせる地域、企業、お金、お祭り、公園の整備、施設、みんなが参加できるイベント、近所付き合い、地域の助け合い、地域協力ができる環境づくり、防犯防災に強い地域・・・など

共通点で絞る

「まちづくり」とは・・・

①「目的」

②「手段」

2

つの要素

まちづくりと担い手。

「担い手」の強みと弱み

担い手（行政・行政区・組織・個人）を考える。

行政

- 強み：影響力がある、お金がある、連携ができる
- 弱み：影響されない、細部に弱い、意見が多い

行政区

- 強み：意思疎通しやすい
- 弱み：縁の希薄化

組織

- 強み：行政区の代役、専門的な知恵がある
- 弱み：意思統一が難しい、内輪になりがち

個人

- 強み：知恵、自由
- 弱み：影響力がない、お金がない

「行政・行政区・組織」は補完し合える関係性

まちとの接点。

担い手とまちの関係性（接点）とは

担い手は、まちに対して何をしているのか？

『行政』

環境整備、活動の種
安心、PR、情報発信

『行政区』

安全、つながり、
行政と個人の橋渡し

『組織』

育成、ボランティア
環境維持、特色づくり

『個人』

美化、環境美化、安心安全、
利活用、経済循環、活性化、
ボランティア

個人とまちの接点が多い。

わたしとまちの関わり

自分が「できること」「やりたいこと」を考える

自分ができること、やりたいことを
グループでまとめて、まちとのつながりを見る。

『できること』

- ① スキルを活かす
- ② 趣味を活かす
- ③ コミュニケーション
- ④ 自然を愛する

『やりたいこと』

- ① 公園を造りたい
- ② イベントをやりたい
- ③ 学びと交流を深めたい
- ④ 環境をきれいにしたい

「できること」と「やりたいこと」はつながる。

わたしとまちの接点

自分の想いをまちとつなげる

『まちづくり』とは「目的」とその「手段」

そして、まちの担い手は強みと弱みを補完しあう関係

自分の「できること」と「やりたいこと」をつなげる

趣味を活かした交流する

それがわたしとまちの接点



常盤大学
砂金ゼミ学生

続いて、Bグループの発表です。

「わたしとまちの接点」

Bグループ

北村 一郎	(清風台区)	羽鳥 文雄	(下高崎区)
浜名 余一	(北浦区)	西川 政秀	(第二東宝区)
皆藤 誠志	(西郷地区)	小川 誠	(陰谷区)
遅野井 郁哉	(常磐大学)	高島 直明	(常磐大学)
菊池 太郎	(常磐大学)	高宮 広幸	(常磐大学)

『まちづくり』とは？

まちづくりという言葉のイメージ

【まちづくり】

環境美化、すんでいる人たちが「好きになれる環境」をつくる、環境を改善する、人と人との交流、人と物の流れをつくる、小美玉市の良さを伝える、共同作業、人と人のつながり・助け合い、住民参加、住民の願い（幸せ）の実現、生活、子供が安心して、生活できる環境を作る、行政の方向をよく知ること．．． など

共通点で絞る

「まちづくり」とは・・・

- ①「環境」
- ②「交流・つながり」
- ③「安全・安心」
- ④「住民の幸せ」
- ⑤「行政」

5

つの要素

まちづくりの担い手

「担い手」の強みと弱み

担い手（行政・行政区・組織・個人）を考える。

行政

- 強み：自由、ノウハウがある
- 弱み：制約、専門的人材の不足，住民との壁

行政区

- 強み：つながり、防災力、影響力
- 弱み：運営、立場（対住民、対行政）

組織

- 強み：専門性
- 弱み：マンネリ

個人

- 強み：自由度、専門性
- 弱み：規模が小さい、意識が低い、利益がない

個人の強みと他の担い手にどう活かすか。

まちとの接点。

担い手とまちの関係性（接点）とは

担い手は、まちに対して何をしている？

- 行政：安心、つながり（外側・内側）環境、**情報発信**、働く場所、市民行事
- 行政区：地域活性化、環境整備、**情報の伝達**
- 組織：**情報**（発信・啓発）、まちおこし、学び、ボランティア、福祉的支援
- 個人：安全、交流、環境整備、**情報発信**、互助、参画
権利・義務

それぞれの担い手の共通点

まちの情報を発信

■ ■ わたしとまちの関わり

自分が「できること」「やりたいこと」を考える

自分の「できる・やりたい」ことを語り、その思いをつなぐ

【できること】

技術・資格、指導を通じた交流、興味をもつ

【やりたいこと】

子供と交流、歴史を知る、市民と交流、安心安全

「交流」がグループとしての思い

わたしとまちの接点

自分の想いをまちとつなげる

『まちづくり』のイメージは交流とつながり
担い手はそれぞれにまちの情報を発信する
人に教え、そして伝えるそれが自分の役割

伝えることで交流する

それがわたしとまちの接点

A group of people, including students and staff, are gathered around a table in a meeting room. They are looking at documents and sticky notes on the table. The room has a wooden door in the background and a white wall. The text is overlaid on the image in a large, bold, black font.

**最後に、
今年のふるさと塾のまとめです。**

グループワークのまとめ

「同じ考えをもつ人」がいる

「出来ること」は地域の人材であり資源

「興味をもつ」＝耳を傾ける

令和元年度
おみたま
ふるさと塾
閉講式



グループ討議発表

ご静聴、

ありがとうございました。



主催：小美玉市 / 後援：小美玉市まちづくり組織連絡会